

〇〇を御通行中のみなさん (お仕事帰りのみなさん)、私たちは〇〇〇です。しばらくの間大きなマイクでお騒がせいたしますが、よろしくお願ひします。

橋下知事が代表をつとめる「大阪維新の会」が9月府議会に「教育基本条例 (案)」「職員基本条例 (案)」の提案を行おうとしています (提案をおこないました)。橋下知事は当初、大阪市長選・府知事選の争点に「WTCへの府庁移転」を公言していました。しかし、東日本大震災後、安全・安心をもとめる府民の声や専門家からの安全面での批判が高まるやいなや、争点にすることをやめました。(変わり身の早さは橋下知事の得意芸です)そして自分の無駄づかいの失政をおおい隠すために、今回の「条例案」を選挙の争点にしようとしています (橋下知事のこうした動きを見るにつけ、府民の生活そっちのけの無責任政治が行われていることがよく分かります)。

ところでみなさん、教育基本条例案・職員基本条例案の中身をご存じでしょうか?今お配りしていますピラにくわしく書いていますのでぜひごらんください。(維新の会は、まだ府民にその中身が知られないようにとわざと全文を明らかにしていません。ですからマスコミ報道や維新の会の記者会見時の情報しかありませんが、それらを総合しますと)

「維新の会」は記者発表の席上、この条例のねらいを「戦後レジームからの脱却」と主張しました。はて?この主張聞き覚えありませんか。4年前、任期途中で (職を放り出した) 安倍元首相がさかんに言っていた言葉です。そのなかみは、「抽象的な『美しい国』を連呼しながら、アメリカのために血を流す日本人をつくるため、教育を根本から変え、戦争できる国の人づくり教育」を目指すものでした。

今回橋下「維新の会」が提案している「条例案」は、基本理念においてその考え方と同じです。「個人よりお国 (大阪都) が大事という**一方通行の『愛国心』**を府民とりわけ子どもたちに」押しつけようとしています。また子どもたちを一人の人間としてではなく、一部の政治勢力に役に立つ人材としてつくり上げることを宣言しています。

みなさん。わが子を「人材」と呼ばれることに親としてどう思われますか?いやじゃないですか?子どもたちは社会のひとつのコマとして育てているではありません。ひとりの自由かつ独立した人格を持った人間として成長しているのです。また親御さんも、子どもの成長をいとおしく思いながら見守られているのではないのでしょうか。私たちは子どもたちを、時の権力言いなりの人材として「ご奉公」させようなんて思いもしないことではないのでしょうか。しかし今回の橋下維新の会が提案している (しようとしている) 条例案の最終のねらいは、実は子どもたちの未来に関わることなのです。

橋下維新の会は、最終目標として子どもたちを思い通りの人材としてつくりあげるといふ危険な思想の部分を、府民からできるだけ遠ざけるために、まず教育関係者を攻撃的にしています。条例案は、職務命令への服従を求め、それに従わないものを処分、分限免職 (解雇) と脅しの武器にして、教職員・教育関係者を思うままにあやつれるようにするなかみとなっています。

40%台の得票率で民意だと言って何でもできるという、多数のおごりが幅をきかせる大阪でいいのでしょうか。また押しつけの愛国心が大手を振って府民・子どもたちの心を支配するような大阪の教育にしているのでしょうか。

子どもたちの未来を守る責任は大人にあります。無関心が一番いけないと思います。条例案のなかみを知ることとあわせて、条例のねらいを知っていただきますよう心から訴えます。今お配りしていますピラを手にとってごらんください。そして私たちの訴えに耳を傾けて下さい。よろしくお願ひします。

<次の○文は、適当に挿入して下さい>

○ 今回の教育基本条例案に対して、校長はじめ現場の教職員から動揺と怒りの声があき上がっています。それだけではありません。大阪府の教育界のトップである中西教育長も真っ向から反論しています。中西教育長は、「教育行政からあまりに政治が遠ざけられてきたと条例案はうたっているが、これまで教育行政について、橋下知事が問題提起するたびに活発に議論を交わしてきた。全国で大阪ほど知事と教育委員会が議論してきたところはない。心外だ」、「大阪の教育にとって良くない」と述べ、さらには『教育基本条例案』が直ちに実行されれば大阪の教育は大混乱する」と強い懸念を示しました。

○ 職員基本条例案は一言で言えば、知事や維新の会言いなりの人物だけを幹部にすえ、府政の中枢機能を独占してしまおうというものです。そのため、意義をはさむ者は「特別研修」を義務づけ、言いなりにしなければ場合は免職。職務命令に3回違反すれば免職。と意見の違う者はすべて排除してしまう制度を条例に盛り込んでいます。これでは独裁政治と言われて当然ではないでしょうか。こんな条例案に対し、知事に次ぐ府の幹部職員も「今まで、評価制度や処分条例など府の職員の代表とも長い年月をかけて積み上げてきた歴史がある。条例案はそれを何もかも否定することになる」と不快感をあらわにしています。

○ 維新の会が「改革」を求めるように、今の教育のもとで子どもたちはダメになっているのでしょうか。この夏行われた1000人の子どもアンケートを紹介します。「この世の中でなくなってほしいものは何ですか」という質問です。子どもたちのなくなってほしいものベスト3は何だったと思いますか。ひとつは宿題です(子どもらしい答えだと思います)。もう一つは「原発」です(大人も今回の事故で目が覚めました)。そして第一位は何かそれは「戦争」です。このアンケート結果から子どもたちは、日本の戦後教育で、すこやかに育っていると思いませんか。目を曇らしているのは大人なのかも知れません。

もう一つ子どもの声を紹介します。橋下知事が「ある時子どもたちに次のように言ったそうです。「テレビばかり見てたらダメだぞー」と。そしたらその言われた大阪の子どもは次のように切り返したそうです。「**あなたはテレビがなかったら知事にならへんかったやん**」と。何と大阪の子どもは機知に富み、すばらしいお笑いのセンスを身につけて、すくすく育っているのでしょうか。

○ 今、大阪の大人たちは、「裸の王様に出てくる大人になっていいないでしょうか」私たちは、橋下知事の言いつぶりに「何かしてくれる」という淡い期待をしていないでしょうか。

子どもが笑う、大人もみんなも笑うと言って当選した橋下知事ですが、この3年半で、子どもが笑う大阪。大人も笑う大阪になったでしょうか。橋下知事が日本一を目指した教育ではどうでしょう。教育費が大幅に削られ、学校では先生が足りない状況が橋下府政になってますます深刻になっています。本来は正規の教職員が配置されなければならないのに、橋下知事になってから新規採用が押さえられ、退職教職員など含め、1000人を超える非正規の教職員が増えました。大阪の学校現場では最高齢70歳を超える先生もかり出されています。

○ 橋下知事は、3年前、「御堂筋のイルミネーションのほうが大事」と言って府立高校の職員350人の首切りをしました。私学では、国からの補助金である経営助成費が大幅に削られ、先生たちのボーナスまで滞る始末です。本当は子どもたちの教育条件の充実に使われるべき予算を、ムダなWTCの買い取り・改修に約200億円。ムダな高速道路建設などの大型開発事業やカジノ構想だと言って海外視察のお金に回している。これが橋下知事府政のもとで行われている実態です。福祉・医療の分野でも人減らし、施設の補助金の削減など大幅なカットがされています。府民の住居である府営住宅の半減まで言い出しています。

○ 橋下知事になってこの3年間、医療・福祉・教育・文化すべて削られました。みなさんの生活が少しも良くなるのはなぜでしょうか。それは政治が悪いからです。知事の打つ手打つ手すべて府民の負担が多くなり今では橋下知事が代表をつとめる維新の会の試算では、府の負債額が3年半前と比べ、1兆4千億円も増え6兆4千億円になったそうです。自分が知事になって負債額を増やしておいて、橋下さんには、知事としての責任感はないのでしょうか。

○ 橋下知事に府民のために主体的にとりくんで実現した成果や実績は何もありません。財界のために尽くしただけです。そのため府民のくらしと雇用、営業は悪くなる一方です。数字にもそれが表れています。完全失業率（6.6%）、企業倒産数（2296件）、生活保護率（3.1%）と全国でも突出して悪くなっている状況です。その状況を隠すため知事は毎日のようにマスコミに登場し、世論を誘導して本質を隠し、まやかしの争点をつくり出しながら、府民の目をそらし、知事としての責任をおおい隠しているのです。高速道路建設は府民が望んだことでしょうか。WTCの買い取りも府民が望んだことでしょうか。違いますよね。マスコミで毎日報道される中で「そうかな」と思いこまされただけなのです。

○ 府民の願いは、安心して生活できることではないでしょうか。そして子どもたちには、いきいきと学校で学んでほしいというのが保護者の願いではないでしょうか。そのために行政の長である知事が先頭で力を発揮するそれが当たり前ではないでしょうか。

職員や教職員を免職・解雇の脅しで、命令・服従させて府民のサービスが向上するでしょうか。教育が良くなるでしょうか。ぜひご一緒に考えていきましょう。そのことを強く述べまして、私からの訴えを終わります。

○（地域独自のことがあれば入れて下さい）

（長い間大きなマイクでお騒がせしました。橋下知事が代表の維新の会が9月議会に提案しようとしている（提案した）条例案は、府職員・教職員を一部政治勢力の言いなりに変え、府民生活・学校教育を統制しようというものです。今後も条例案のひどい中身について訴えをして参りたいと思います。今日はどうもありがとうございました。）